

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年12月5日(18:00~20:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 新村 大倉 笠井 西山 荒井 田中 岡村  
宮尾 海沼 北沢 米山 廣川 宮下 中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	6人	5人	1人	12人

前回の改善計画  
・家族とスタッフのコミュニケーションが取りづらく、連絡ノートを家族が書きやすい様式を作成し、実施したので、活用していくことで、利用時の様子や自宅での様子等お互いに情報交換をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
・書きやすい様式にして活用すると、家族より日常の様子や家族の気持ちなどが書かれていることが増えたが記入されていない家族も多かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	10	1	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	8	4	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	7	3	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	6	4	0	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・送迎時や訪問時は家族に積極的に声をかけ自宅での様子を聞いたり、連絡ノートに家族が記入できる箇所を作り活用している。  
・日中の様子をミーティングで話し合いケース記録や申し送りノートに記入することで、職員間での情報共有ができています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・傾聴している時間が不足しているため、本人の気持ちに共感できず本当に必要な支援がわからない。  
・送迎時家人が不在、連絡ノートに記入箇所を作っても記入がない、返事がない等で自宅での様子を把握できずコミュニケーションがとれていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
・利用開始から2週間目と4週間目に利用や訪問の様子をモニタリングし、状態変化や本人の声を聞きその後の利用に繋げる。(個人プランに入れ家族に向けた内容は連絡ノートに記入し読んでもらう)。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年12月5日(18:00~20:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 新村 大倉 笠井 西山 荒井 田中 岡村  
宮尾 海沼 北沢 米山 廣川 宮下 中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	3人	3人	9人

前回の改善計画  
・「よりそいシート」を完成させ、本人の気持ち、家族の気持ち等を把握し、ケアプランや日々の関わりに活かしたい。

前回の改善計画に対する取組み結果  
・「よりそいシート」は完成したが項目が多く聞きとりに時間がかかり見直しが必要になる。また担当者会議への出席ができなく実際の使用もあまりできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	7	4	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	3	2	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	6	1	12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	7	3	2	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・利用者の問題点や気がついたこと、本人から聞いた希望や要望はミーティングで話し合い解決策を考え、可能な限り対応している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・「よりそいシート」ができていない。  
・声をだせない利用者の本心がわからず「～したい」があっても家族の意見が優先されていたり、支援者視点で考えられていることがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
・よりそいシートは本人を知る手段の一つとし、担当職員を中心に「以前の暮らし」の情報を得ながら作成していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年12月5日(18:00~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 新村 大倉 笠井 西山 荒井 田中 岡村  
宮尾 海沼 北沢 米山 廣川 宮下 中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	2人	0人	12

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ノートに家族が記入しやすいように様式を改善しながら、お互いに同じ情報を共有できるようにする。</li> <li>・1人1人ホワイトボードを利用する為にホワイトボードに線を引き、その日の情報と統一されている情報を見やすいようにする。また、ホール内にてホワイトボードの記入が一目でわかるようにテーブル上にリーダー専用のホワイトボードを使用する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードの活用はできた。また家族からの連絡ノートの記入をコピーしケース記録に貼り情報共有ができた。記入されない家族からの情報収集ができなかった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	0	9	4	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	9	1	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	6	5	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	7	2	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	8	2	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードを活用し利用者の情報やその他周知しなくてはならぬことなどスタッフ全員で共有できている。</li> <li>・利用者の体調や変化に気づきその人に合わせたサービスを提供している。また変化があった際は連絡ノートやホワイトボードに記載している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ノートへの記入がない家族もあり自宅での状況が分からず情報不足のため変化に気づくのが遅れてしまう事がある。</li> <li>・入浴・排泄等で内出血・擦り傷等気がついた時点で記録するようにしているが原因の追求がされていない事が多い。</li> <li>・「よりそいシート」の活用がされていないため一人一人の“以前の暮らし”情報が無いため把握できていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ノートへの記入があることを口頭で伝える。(家族と事業者との利用の内容に認識の違いがあるため、自立支援を行っていることを記入する)</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年12月5日(18:00~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 新村 大倉 笠井 西山 荒井 田中 岡村  
宮尾 海沼 北沢 米山 廣川 宮下 中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	7人	4人	11人

前回の改善計画	・ケアマネの情報であるケアプランや家族との情報である現在作成中の「よりそいシート」を活用して、現在進行中である地域資源の活用をみつけていく。その為には、「よりそいシート」の実現をするよう進めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職員不足より、家族との担当者会議へ出席ができず、情報収集ができなかったため、地域資源の活用ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	3	7	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	4	7	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	6	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	6	5	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅での生活について本人・家族から話を聞いたり連絡ノートに記入してもらうようにしている。</li> <li>・その人の必要な支援はケアマネの訪問や担当者会議の際話し合い提供している。</li> <li>・地域の行事に積極的に、参加し交流を深めている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時、家族不在の自宅もあり話す機会が少ないことや連絡ノートへの記入のない家族もあり自宅での生活・本人の状況などの情報が不足している。</li> <li>・本人の地域資源・民生委員との関わりが把握できずその人に合った支援ができていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族と話す機会を増やし、必要な地域資源を見つけるとともに、本人の不足の情報を収集し記録に残す。</li> <li>・「いきいきだより」を年3回発行し、いきいきの情報を発信していく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年12月5日(18:00~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 新村 大倉 笠井 西山 荒井 田中 岡村  
宮尾 海沼 北沢 米山 廣川 宮下 中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	2人	0人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用当日の状態変化や緊急の対応を求められる内容は、リーダー専用のホワイトボード(小)に記入し当日勤務者に徹底する。</li> <li>・健康状態や本人の言動や状態に変化などあったときは、関わった人がケース記録に記入し正確な情報を伝えていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードの活用によって情報の共用はできるようになったが、まだ記録として残すことが職員の中でバラツキがある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	5	3	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	7	0	1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	6	3	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	10	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードや連絡ノートを活用する事により情報を共有できている。</li> <li>・連絡ノートで家族からの情報を得られるようになって状態の変化が分かりやすくなっている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の変化に気づいていても、介護職員の個々の判断で記録に残すかどうかの差が出てしまう。</li> <li>・変化に気づいた時点で記録に残すようにしているが、その後の経過観察を記録していないことが多い。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関わった人、気が付いた人はバイタルチェック表に要点を書き、小さな事でも記録に残すように癖をつけ、全職員の目に触れるようにする事で記録・連絡ノートへの記入に繋げる。</li> <li>・小さな変化でも記録に残すようにして、経過観察を意識づける。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年12月5日(18:00~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 新村 大倉 笠井 西山 荒井 田中 岡村  
宮尾 海沼 北沢 米山 廣川 宮下 中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	4人	3人	9人

前回の改善計画

- ・スタッフの会議等(担当者会議)にできるだけ参加できるように家族の予定を早めに決め勤務表に組み入れるようにする。(連絡ノートの活用をする)
- ・自治体や地域包括支援センターの会議等は担当者が会議やイベントの情報を収集しできるだけ参加をする。参加した情報はホワイトボードに表示し共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・職員不足もあり担当者会議の参加ができなかった。
- ・会議に出席した担当者から会議内容の情報提供不足があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	0	1	10	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	0	10	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	1	3	6	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	4	1	3	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域の運動会・小学校や保育園との交流を行い、また事業所のイベントにも参加している。
- ・地域と合同防災訓練を行っている。サマチャレや中学・高校等の職場体験も受け入れている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・事業所のイベント以外で地域の人が訪れない。
- ・運営推進会議等会議の内容について職員に認識不足がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・会議に参加した職員は会議の内容を可能な限り報告する。申し送りノートやホワイトボードを活用し情報提供を行う。
- ・「いきいきだより」を年3回発行し、行事年間計画をのせ利用者と家族に知ってもらう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年12月5日(18:00~20:00)

7. 運営

メンバー 新村 大倉 笠井 西山 荒井 田中 岡村  
宮尾 海沼 北沢 米山 廣川 宮下 中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	4人	1人	10人

前回の改善計画	家族・地域からの苦情の情報の共有ができていないため「家族へのアンケート」の実施を行いスタッフ全員で集計し共有する。連絡ノートの家族欄から情報を収集し朝リーダーが確認したものをリーダー専用ホワイトボードに記入しスタッフで共有する。地域から苦情・意見は運営推進委員会や広報に苦情係を明記し情報を収集し対応する。
前回の改善計画に対する取組み結果	「家族へのアンケート」は実施し集計も完了した。家族からの情報の提供はホワイトボードによって共有されるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	4	2	3	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	3	4	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	2	7	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	4	0	5	3	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者・家族からの要望は連絡ノートやホワイトボードを活用しスタッフ間で共有している。</li> <li>・家族から連絡ノートに記載がある時はコピーをケース記録に貼り情報の共有をしている。</li> <li>・家族へアンケートの実施ができた。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの内容を職員全員で把握ができていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの集計に対して分析及び改善検討を行い、職員全員で把握した上で家族への報告を行う。</li> <li>・家族・利用者・地域の苦情及び要望の把握を共有するために、ホワイトボードの活用を見直す。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年12月5日(18:00~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 新村 大倉 笠井 西山 荒井 田中 岡村  
宮尾 海沼 北沢 米山 廣川 宮下 中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	3人	2人	12人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>参加したい研修のアンケートをとり、必要な研修計画をたて実施する。</li><li>ヒヤリハットの再発防止に向けミーティングで対応策を話し合い、その結果をヒヤリハットの用紙に赤字でコメントを残す。全員の押印をすることで意識づけする。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>研修アンケートを実施し、要望の多かった救急法や感染症の研修会を開催できた。</li><li>ヒヤリハットについては対応策を話し合うことはできたが、押印の徹底ができなかった。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	6	2	1	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	5	4	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	1	9	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	2	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>ヒヤリハットがあれば用紙に記入し、対応策を夕方のミーティングで迅速に話し合い、再発予防に努めている</li><li>ケアマネ試験合格者がでた。介護福祉士も受験予定の職員あり。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>時間が合わず、仕事以外の時間の研修に参加できない。</li><li>任意参加の研修は興味があっても時間外のため参加できない。</li><li>ヒヤリハットの用紙に全員の押印がない。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>参加しやすい研修にするため場所や開催時間を考慮する。</li><li>ヒヤリハットの対応策については、ミーティングに参加出来ない職員もいつでも閲覧できる場所に保管し、目を通したら押印する事で意識付けを行う。</li><li>年間の研修計画を作成し、誰もが出席できるようにする。</li></ul>



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年12月5日(18:00~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 新村 大倉 笠井 西山 荒井 田中 岡村  
宮尾 海沼 北沢 米山 廣川 宮下 中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	2人	0人	12人

前回の改善計画	
・プライバシーの保護を常に意識する。 例) トイレの戸は見守りや安全が確認できる最小限の範囲で行う。 会話の中で個人情報が流れているので、お互いに注意しあう。 等	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・トイレでの見守りについては実現できたが、利用者についての話を利用者のいるところでしてしまう事があり、徹底できなかった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	13	0	0	0	13
②	虐待は行われていない	12	1	0	0	13
③	プライバシーが守られている	4	7	2	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	0	1	8	11
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	7	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・身体拘束や虐待は行われていない。 ・希望する利用者には同性介助を行っている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・会話の中で利用者のプライバシーに触れてしまうことがある。 ・業務優先で、プライバシーが守れていないと感じる事がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・プライバシーに関わる打ち合わせは、必ず事務所でする事を徹底する。 ・トイレの声掛けは個々に行う。